

みずほCustomer Desk Report 2017/02/23 号(As of 2017/02/22)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.64 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.67	1.0542	119.85	1.0091	1.2488	0.7676
SYD-NY High	113.73	1.0574	119.88	1.0141	1.2509	0.7714
SYD-NY Low	112.91	1.0494	118.60	1.0079	1.2420	0.7667
NY 5:00 PM	113.32	1.0558	119.65	1.0103	1.2451	0.7703
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.89/11.34		△25RR	0.283	Yen Call Over	

NY DOW	20,775.60	32.60	債券市場	日本2年債	-0.2570	▲2.7bp
NASDAQ	5,860.63	▲5.32		日本10年債	0.0830	▲1.2bp
S&P	2,362.82	▲2.56		米国2年債	1.2162	0.9bp
日経平均	19,379.87	▲1.57		米国5年債	1.9049	▲1.5bp
TOPIX	1,557.09	1.49		米国10年債	2.4129	▲1.6bp
シカゴ日経先物	19,350	▲110.00	為替市況	独10年債	0.2790	▲2.2bp
ロンドンFT	7,302.25	27.42		英10年債	1.2030	▲3.3bp
DAX	11,998.59	31.10		豪10年債	2.8340	3.4bp
ハンセン指数	24,201.96	238.33		USD/CNH	6.8573	▲0.0063
上海総合	3,261.22	7.89		ドルインデックス	101.32	▲0.05
USDJPY 3M Vol	11.82	0.16%	商品市況	CRB指数	191.227	▲0.82
USDJPY 6M Vol	11.29	0.15%		NY金	1,233.30	▲5.60
EURJPY 3M Vol	14.74	0.30%		WTI	53.59	▲0.74
EURJPY 6M Vol	13.12	0.30%		Dubai Spot	54.08	▲0.62

東京	東京時間のドル円は113.67レベルでオープン。日経平均株価が軟調推移する中でドル円も上値重い展開となり、113.35近辺まで下落。その後、衆院財務金融委員会に出席していた黒田日銀総裁より「2%物価目標達成に必要があれば、更なる緩和はあり得る」との発言が伝わるも、特段目新しい内容でもなくマーケットの反応は限定的。その後は113円台半ばで揉み合い推移が続き、113.57レベルで海外市場に渡った。一方、ユーロは1.0542レベルで東京時間オープン。全般的なドル売りの流れが強まる中でユーロ買戻しの動きが見られ、一時1.0557まで上昇。しかし、フランス総選挙・フランス大統領選と欧州政治リスクが意識される中、上値を抑えられる格好となり1.0550近辺で横ばい推移が続いた。東京時間引けにかけてユーロ売り圧力が強まると1.0535レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円はクロス円の下落につられ軟調推移。朝方は113.57レベルでオープン。寄り付き後こそ底堅く推移した欧州株も、独仏債スプレッドが拡大し続けるのを背景に反落。この流れを受けて為替市場ではユーロ円を筆頭にクロス円が下落。ユーロドルの上値の重さが持続する中でドルは総じて底堅く推移していたにも関わらず、ドル円はクロス円と共につれ安の展開となり、113円ちょうど近辺まで下落し113.06レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.0535レベルでオープン後、一時安値となる1.0494まで下落。その後はレンジ推移となり、1.0514レベルでNYへ渡った。ポンドドルはポンド円の下落と共につれ安の展開。朝方は1.2500レベルでオープンした後、1.24台前半まで下落し1.2450レベルでNYへ渡った。(ロンドンオールデー比野00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円は113.06レベルでオープン。朝方は112.91まで下落する局面があったものの、米1月中旬住宅販売件数が予想を上回り、10年ぶりの高水準となったことからドル円は113.23まで上昇。その後もフランス中道派のバイル氏が大統領候補であるマクロン前経済相を支持すると発言したことから、ユーロ円が急伸する展開にドル円も113.45まで続伸。午後に発表されたFOMC議事要旨では、多くのメンバーがかなり早期の利上げが適切になると考えている旨の記載があり、ドル円は113.66まで一段高となる。しかし、イン議長をはじめとするここ最近のFed要人のタカ派発言を受けて3月利上げを具体的に示唆する内容を期待した向きもあったと見られた中、議事要旨ではインが大きく上昇するリスクは小さいとの見方も示されており、一旦材料の出尽くし感とも相俟って112.96まで急反落する展開となった。その後は113.10付近での推移が続くが、ムニューチン財務長官が「強いドルは米経済に対する自信を反映している」とドル高を擁護する発言をしたことから113.34まで戻し、113.32レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.0514レベルでNYオープン。朝方は良好な米中古住宅販売件数を受け、1.0496まで下落するも、前述のバイル氏の発言を受けて1.0566まで反発。午後はFOMC議事要旨を受けたドル買いに一旦1.0526まで下落するが、その後はドル売りが持ち込まれたことから1.0574まで戻して1.0558でクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 加藤・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
2月22日	18:00	独	IFO企業景況感・期待/現況	2月	111.0/104.0/118.4	109.6/103.0/116.6
	18:30	英	GDP・改定値(前期比/前年比)	4Q	0.7%/2.0%	0.6%/2.2%
	19:00	欧	消費者物価指数(HICP)・確報値(前月比/前年比)	1月	-0.8%/1.8%	-0.8%/1.8%
	21:00	米	MBA住宅ローン申請件数	-	-2.0%	-
2月23日	0:00	米	中古住宅販売件数	1月	5.69M	5.55M
	3:00	米	パウエルFRB理事講演	-	-	-
	4:00	米	FOMC議事要旨公表(1/31-2/1開催分)	-	-	-

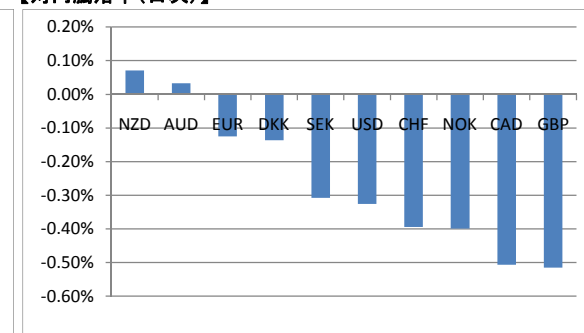
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
2月23日	8:50	日	対外・対内証券投資	-	-	-
	16:00	独	GDP・確報値(前期比/前年比)	4Q	0.4%/1.7%	0.4%/1.7%
	16:00	独	GfK消費者信頼感	3月	10.1	10.2
	22:30	米	新規失業保険申請件数	-	240K	239K
	22:35	米	ロックハート・アトランタ連銀総裁講演	-	-	-
2月24日	3:00	米	カプラン・ダラス連銀総裁講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.80-113.60	1.0500-1.0600	119.00-120.00

【マーケット・インプレッション】

フランス大統領選挙に関してバイル氏とマクロン氏が共闘を表明したことによりルペン氏の勝利する可能性が低下したとみられ、リスク回避ムードは和らいでユーロ、およびユーロクロスが買い戻されることとなった。ドル/円についてはトランプ大統領による税制改革の詳細が見えてこない今の段階では大きくポジションを傾ける向きが多くなく、様子見気分が広がっている。